

令和元年度

夢と笑顔と元気がやぐ森の里小学校



6月号

森の里小だより

<http://www.edu.city.atsugi.kanagawa.jp/morinosato-es/>

発行者 厚木市立森の里小学校
 校長 中村 明子
 所在地 厚木市森の里 1-27-1
 電話 046(248)3611
 児童数 6月3日現在 235名



つながり

校長 中村 明子

近頃、「つながり」がキーワードとして取り上げられることが増えてきました。先日もある研修会で、講師からこんなことを尋ねられました。『**『つながり』として挙げられるものは何ですか？**』

どんなことが思い浮かぶでしょうか。思いつくまま羅列してみたいと思います。

・人と人・人と社会・時間(過去～現在～未来)・命・国と国・血(血縁)・ご近所・人と物(食物・道具など)・お金・歴史・宇宙・科学・医療・SNSやインターネット……など。最近では、人とAIのつながりというものもあります。改めて、この世の中はあらゆるものがつながって形成されているということ認識させられます。

ただ、この研修会は教育関係のものでしたので、「つながり」は学校を取り巻く環境の中で考える必要があります。では、どんなつながりがあるのでしょうか。

・子どもと教職員・子ども同士・子どもと家庭・子どもと地域・教職員と保護者・学校と家庭・学校と地域・教科等領域相互・学年相互・男子と女子・クラス間・学校の歴史・教職員同士・保護者同士・教育改革の変遷・子どもと教材教具・小学校と中学校や保育園、幼稚園・小学校同士……など、これまた限りないつながりを見出すことができます。そして、どれもが大切なつながりです。

さて、来年度から全面実施される小学校新学習指導要領で目指すのは「**社会に開かれた教育課程の実現**」です。地域、社会との連携や協働によって教育活動を推進し、これからの社会を担っていく人づくりを進めていくことが必要だと指導要領は説いています。

5月28日(火)、6年生対象に「ふれあい喫茶」が開かれ、地域の方が森の里の歴史についてお話くださいました。今から35年前に森の里が誕生した頃から、住民の手による住民のための街づくりが進められてきたこと、子ども達がふるさと森の里を誇りに思える街づくりをしてきたこと、その中に子ども達が参加するしくみをつくってきたことなど、多くのことを教えていただきました。また森の里では、誕生当初から住民同士のつながりを大切に、子どもと地域、学校と地域等のつながりの中で人づくりが進められてきたことがわかりました。



私たちに与えられた課題は、そのつながりの中で、子ども達自身が、どんな地域にしたいのか、どんな学校にしたいのか、そのために自分たちには何ができるのかを考え、それを実践に結び付けていく力を育成していくことなのだと痛感しています。

授業後の6年1組の学級通信で、担任の先生からこんなメッセージが発信されました。

…(略)一番すごいと思ったことは、地域の人々が自分たちの住んでいる場所をより良くするために考え、行動したところです。森の里の一員である誇りがかっこいいなと思いました。



きっとこの考えは、学校やクラスにも生かせるのではないかと思います。

「自分たちがどんなクラスで過ごしたいのか?」「どんな森小にしていきたいのか?」一人一人が考え行動することで、何かが変わっていく気がします。

さあ、よいよ6月です。自分にできることって何だろう?

「地域の実践を、クラスづくりや学校づくりにもつなげていこう。」そんな担任の思いを感じました。

一人一人の子どもを大切に！



- ・多くの刺激が視野に入らないよう、教室の前面への掲示をできるだけ避ける。
 - ・1時間の授業の流れをあらかじめ伝え、見通しをもたせる。
 - ・言葉での指示が苦手な子には、カード等を用意し視覚に訴えるようにする。・・・など
- 最近は何の学校でも見られる教室の光景なのですが、そこには「一人一人丁寧に」と「みんなで一緒に学ぶ」というインクルーシブ教育の理念が大きく反映しています。

本校でも、「一人一人の思いを大切に」「特性に合った支援の方法を」「困り感に寄り添って」「居場所づくりのために」「自己肯定感をもたせるために」等の言葉が、先生達の会話にも頻りに登場します。子ども達一人一人を大切にしたい指導を行うために、「担任として何が出来るか。」「支援のあり方はどうすれば良いのか。」について、私達教師も日々研修や話し合い、工夫を重ねているところです。

また、一人一人の教育的ニーズによって、通級指導教室(言語・情緒)、特別支援学級での学びも展開されています。**さまざまな配慮や工夫によって、一人一人の良さや得意を伸ばしていくことや苦手を減らしていくことがその目的ですが、その先には、一人一人の自立と社会参加という大きな目標があるのです。**

子ども達一人一人に適した支援を行うため、学校では、教育相談コーディネーターを中心に、保護者との話し合い、教師によるケース会議等を行っています。また、スクールカウンセラー(厚木市青少年教育相談センターより)や元気アップアシスタント、伊勢原養護学校職員の訪問指導等による個別相談や子ども達の観察・支援も行っております。

心配なことや聞いてみたいことなどありましたら、ぜひ、担任や教育相談コーディネーター(志澤)、教頭(長谷川)までお気軽にお知らせください。お待ちしております。TEL 046-248-3611

※インクルーシブ教育とは、子ども達一人一人が多様であることを前提に、障害の有無にかかわらず、誰もが望めば自分に合った配慮を受けながら、すべての子ができるだけ同じ場で共に学び共に育つことを目指す教育理念と実践プロセスのことをいいます。

6月の行事予定

6月は、授業参観、引き渡し訓練、夏の集会と保護者の皆様にご来校いただく機会が多くあります。よろしくお願いいたします。

日	月	火	水	木	金	土
						1
SC : スクールカウンセラー来校日 GU : 元気アップアシスタント(心の相談室)勤務日 お子さんの事で相談を希望される方は、教頭あるいは教育相談コーディネーター志澤までご連絡ください。 TEL 046-248-3611 (学校)						
2	3	4	5	6	7	8
	朝会/いじめアンケート(この週で)/歯と口の健康週間(8日まで)/栄養士学校訪問(5-2)/サツマイモの苗植え/4年生消防署見学	5年ふれあい喫茶/全校清掃(森小クリーンアップ作戦)/5,6年プール清掃/4年手話体験 GU	短縮4校時 13:10下校	代表委員会 歯科検診	委員会 元気塾A GU	土曜授業参観 4校時・給食あり (13:25下校)
9	10	11	12	13	14	15
	土曜参観振替休業	あいさつ運動(14日まで) GU	朝読(ポ1~4年) 防災を考える日: 引き渡し訓練	2,5年耳鼻科検診	栄養士学校訪問(4-1)/3年ふくろう探検/クラブ/ 元気塾B GU	PTA本部会 PTA運営委員会 学校運営協議会
16	17	18	19	20	21	22
	プール開き週間	GU		防犯教室 森っ子なかよしタイム	夏の集会/元気塾A GU	
23	24	25	26	27	28	29
父親委員会主催行事(流しうどん)	児童朝会/CS研修会/あいさつ運動(28日まで)/栄養士学校訪問(3-2) SC	1,2年人権教室(森の里人権擁護委員会) GU	朝読(全ポ)	お話し会(よむよむ隊)/5年日産わくわくエコスクール/栄養士学校訪問(3-1)	クラブ 学習室ブロック 交流会/元気塾B GU	
30						